

戀に返り咲く 詩人菅野衣川 (二)

落花再び舊枝にほころび 願ひの玉磨詩は完成

菅野衣川氏の「落花再び舊枝にほころび」は、彼の詩壇に於ける一つの傑作である。この詩は、彼の過去の恋愛経験を基に、深い感情と鋭い観察眼を以て書かれたものである。詩の構成は、落花の姿を擬人化し、その運命を哀れむという形式をとっている。しかし、単なる哀愁にとどまらず、落花の死を覚悟して再び故郷に帰るという決意が、詩の骨髄に込められている。この詩は、彼の過去の恋愛を振り返り、その苦しみと喜びを咀嚼し、最終的に一つの完成した作品として発表された。読者は、この詩を通じて、作者の心の奥底にある情熱と、人生の厳しさを垣間見ることが出来る。

關西學院中學部野球 チームの顔觸れ 引率者の眞鍋氏は須大出 一行十四名

關西學院中學部野球チームの引率者眞鍋氏は、須大出氏に率いられて、一行十四名で、本日の午後、東京へ出発した。眞鍋氏は、このチームの指導に当たっており、選手たちの士気を鼓舞し、試合に臨むよう激励した。須大出氏は、このチームの引率者として、選手たちの安全と健康を第一とし、試合に集中できるようにサポートする。一行は、東京で数日の練習を行い、その後、各地の試合に出場する予定である。

廿四歳の子爵様が 南米の視察に 都府ついで移住する 樂洋丸船客の變り種

廿四歳の子爵様が、南米の視察に都府ついで移住する。樂洋丸船客の變り種。この子爵様は、南米の視察を終え、都府に到着した。彼は、南米の自然と文化に感銘を受け、移住することを決意した。樂洋丸船客の變り種は、この子爵様の移住を機に、南米への関心が再び高まっている。船客の中には、南米の観光やビジネスに興味を持っている者が多く、樂洋丸は、南米への航路を積極的に展開している。

矢島刀自の 建碑式行はる 德富蘇峰氏の草した碑文

矢島刀自の建碑式行はる。德富蘇峰氏の草した碑文。建碑式は、矢島刀自の没後、德富蘇峰氏が草した碑文を以て行われた。碑文は、刀自の功績と徳を讃え、後世に伝えるものである。建碑式は、多くの人々の参加で行われ、刀自の没後、初めて行われた。この建碑式は、刀自の没後、初めて行われた。この建碑式は、刀自の没後、初めて行われた。

盆會 桑港佛教會支部 佛會の盆會

盆會 桑港佛教會支部 佛會の盆會。桑港佛教會支部は、盆會の行事を開催した。盆會は、先祖の霊を慰むための行事であり、佛教會では、佛の教えに基づいて行われる。桑港佛教會支部は、盆會の行事を、佛の教えに基づいて行われ、佛の教えに基づいて行われる。

布哇出生認知 審問會開催 十一日からスチワートホテルで

布哇出生認知 審問會開催 十一日からスチワートホテルで。布哇出生認知の審問會は、十一日からスチワートホテルで開催される。審問會は、布哇出生認知の事実を確認するための審問であり、審問官の判断に基づいて行われる。審問會は、十一日からスチワートホテルで開催される。

消息 小野昇六 橋本三郎 五味秀也

消息 小野昇六 橋本三郎 五味秀也。小野昇六、橋本三郎、五味秀也の消息。小野昇六は、東京で生活している。橋本三郎は、大阪で生活している。五味秀也は、京都で生活している。小野昇六、橋本三郎、五味秀也の消息。

宮川嬢獨唱 領事管内視察談

宮川嬢獨唱 領事管内視察談。宮川嬢の獨唱は、領事管内視察談をテーマにしたものである。宮川嬢は、領事管内視察談をテーマにした獨唱を行い、領事管内視察談の現状を訴えている。宮川嬢の獨唱は、領事管内視察談をテーマにしたものである。

古屋支店員 市内有志者招待

古屋支店員 市内有志者招待。古屋支店員は、市内有志者を招待した。古屋支店員は、市内有志者を招待し、古屋支店員の活動について話し合った。古屋支店員は、市内有志者を招待した。

日本郵便 七月一日開始

日本郵便 七月一日開始。日本郵便は、七月一日開始した。日本郵便は、七月一日開始し、日本郵便のサービスを提供している。日本郵便は、七月一日開始した。

井上昌 乾精末

井上昌 乾精末。井上昌、乾精末の消息。井上昌は、東京で生活している。乾精末は、大阪で生活している。井上昌、乾精末の消息。

保坂龜太郎 星鐵太郎

保坂龜太郎 星鐵太郎。保坂龜太郎、星鐵太郎の消息。保坂龜太郎は、東京で生活している。星鐵太郎は、大阪で生活している。保坂龜太郎、星鐵太郎の消息。

林甚之丞

林甚之丞。林甚之丞の消息。林甚之丞は、東京で生活している。林甚之丞の消息。

歸朝者の 消息

歸朝者の 消息。歸朝者の消息。歸朝者は、海外から帰国した。歸朝者の消息。

日本郵便 七月一日開始

日本郵便 七月一日開始。日本郵便は、七月一日開始した。日本郵便は、七月一日開始し、日本郵便のサービスを提供している。日本郵便は、七月一日開始した。

井上昌 乾精末

井上昌 乾精末。井上昌、乾精末の消息。井上昌は、東京で生活している。乾精末は、大阪で生活している。井上昌、乾精末の消息。

保坂龜太郎 星鐵太郎

保坂龜太郎 星鐵太郎。保坂龜太郎、星鐵太郎の消息。保坂龜太郎は、東京で生活している。星鐵太郎は、大阪で生活している。保坂龜太郎、星鐵太郎の消息。

林甚之丞

林甚之丞。林甚之丞の消息。林甚之丞は、東京で生活している。林甚之丞の消息。

歸朝者の 消息

歸朝者の 消息。歸朝者の消息。歸朝者は、海外から帰国した。歸朝者の消息。

歸朝者の 消息

歸朝者の 消息。歸朝者の消息。歸朝者は、海外から帰国した。歸朝者の消息。

歸朝者の 消息

歸朝者の 消息。歸朝者の消息。歸朝者は、海外から帰国した。歸朝者の消息。

大走新茶賣出し 銘茶松屋

大走新茶賣出し 銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。

祝餅に赤飯 春月堂

祝餅に赤飯 春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。

北米病院

北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。

林産院

林産院。林産院。林産院。林産院。林産院。

川口産院

川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。

山本辰雄

山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。

小川榮一

小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。

加州 井戸本保之助

加州 井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。

藤田南科醫院

藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。

日本病院

日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。

桑港佛教會

桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。

北河慶次郎

北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。

喜安都定

喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。

日米用達社

日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。

防長旅館

防長旅館。防長旅館。防長旅館。防長旅館。防長旅館。

北米病院

北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。

林産院

林産院。林産院。林産院。林産院。林産院。

川口産院

川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。

山本辰雄

山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。

小川榮一

小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。

加州 井戸本保之助

加州 井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。

大走新茶賣出し 銘茶松屋

大走新茶賣出し 銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。大走新茶賣出し、銘茶松屋。

祝餅に赤飯 春月堂

祝餅に赤飯 春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。祝餅に赤飯、春月堂。

北米病院

北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。北米病院。

林産院

林産院。林産院。林産院。林産院。林産院。

川口産院

川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。川口産院。

山本辰雄

山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。山本辰雄。

小川榮一

小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。小川榮一。

加州 井戸本保之助

加州 井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。

藤田南科醫院

藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。

日本病院

日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。

桑港佛教會

桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。

北河慶次郎

北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。

喜安都定

喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。

日米用達社

日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。

加州 井戸本保之助

加州 井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。加州、井戸本保之助。

藤田南科醫院

藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。藤田南科醫院。

日本病院

日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。日本病院。

桑港佛教會

桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。桑港佛教會。

北河慶次郎

北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。北河慶次郎。

喜安都定

喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。喜安都定。

日米用達社

日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。日米用達社。

南加版

支那通信社 (S. I. U.)
電話一四一五

大博日本デー當日 使用の茶が来る

茶業組合から送るの回答
コレア丸に積んで

茶業組合から送るの回答
コレア丸に積んで

三十三名

遠山一行
サンデーゴロへ

山車が一等賞

山車が一等賞
大行列に参加し拍手を得

日米人を喜ばした

日米人を喜ばした
大行列に参加し拍手を得

夏期学校

夏期学校
九月から開講

三階の窓から

三階の窓から
同人

優勢

優勢
八日最後の決戦

下町組
八日最後の決戦
何なるか不明

熊本の海外の

送迎歓迎

熊本の海外の送迎歓迎
熊本の海外の送迎歓迎

金銀細工の

展覧

金銀細工の展覧
金銀細工の展覧

加州労働者

農業労働者

加州労働者農業労働者
加州労働者農業労働者

同僚

同僚
同僚

功労者へ

功労者へ
功労者へ

南加花市場

南加花市場
南加花市場

確実迅速

確実迅速
確実迅速

中筋順

中筋順
中筋順

羅府日米新聞

羅府日米新聞
羅府日米新聞

同人

同人
同人

第一街グラージ

第一街グラージ
第一街グラージ

太平洋印刷所

太平洋印刷所
太平洋印刷所

泉

泉
泉

藤井事務所

藤井事務所
藤井事務所

御禮廣告

御禮廣告
御禮廣告

皆田政一

皆田政一
皆田政一

友人

友人
友人

鼻病

鼻病
鼻病

大評判

大評判
大評判

マタジウ醤油

マタジウ醤油
マタジウ醤油

かまぼこ

かまぼこ
かまぼこ

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

松竹キネマ特作

松竹キネマ特作
松竹キネマ特作

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

新着レコード案内

新着レコード案内
新着レコード案内

自動車椿事で 去る四日に市内外で

去る四日は、市内外で自動車事故が頻りに起つた。市内では、市街地を走る自動車と歩行者とが衝突し、歩行者が重傷を負つた。また、市外では、急カーブを曲がらなかつた自動車とトラックとが衝突し、トラックが翻転した。これらの事故は、いずれも運転者の不注意によるものであると見られる。警察当局は、これらの事故を防止するため、市内外の主要道路に注意標識を設置し、また、運転者に安全運転を呼びかけている。

農園管理者會 レ市合併成る

本市の農園管理者會は、市合併の結果、本市と市外とを合併して一つの大きな農園管理者會を組織することを決定した。この會は、農園の管理、防虫、防除、灌漑、排水、肥料の供給、農産物の販売、農家の生活の向上などを目的として活動する。また、農園の改良、農具の改良、農家の教育、農家の福利厚生なども行つていく。この會の組織は、農園の規模、農産物の種類、農家の数などに従つて決定される。

剣劇遠山一行

剣劇界の巨匠遠山金次郎氏の一行が、本市を巡回公演中である。遠山氏は、その雄渾な演技と、鋭い剣術で、観衆の心を打ち取つてきた。今回の公演は、遠山氏の代表作「新選組」を題材としたもので、遠山氏は、新選組のリーダーとして、その忠義と勇気を演じている。観衆は、遠山氏の演技に大いに感銘を受けている。公演は、本市の主要劇場で、大盛況を博している。

秋本醫師渡米

本市の著名な医師秋本氏が、渡米することを決定した。秋本氏は、米国の医学界で、その専門知識と経験を活かすことになり、米国の主要大学で、医学の教授を務めることになった。秋本氏は、渡米後も、本市の医療界に貢献することを誓っている。秋本氏の渡米は、本市の医療界に大きな影響を与えることになると見られる。

須市日會 七月五日に

本市の須市日會が、七月五日に、本市の主要ホテルで、大規模な宴会を開催した。この宴会は、須市日會の創立記念式典と、本市の発展を祝つたものである。宴会には、本市の主要政治家、実業家、文化界の著名人が参加し、大いに盛り上げた。須市日會の代表者は、本市の発展と、市民の生活の向上を期すことを誓った。

大改善

本市の交通状況が、大いに改善された。市当局は、主要道路の拡幅、信号機の設置、歩道の整備などを行い、交通の円滑化を図つた。また、公共交通機関の増強も進められ、市民の利便性が向上した。市当局は、今後も、交通の改善を続けていく方針である。

ホワイトホテル

本市のホワイトホテルが、大規模な改装を終了し、営業を再開した。改装後のホテルは、豪華なインテリアと、一流のサービスで、観光客やビジネス客のニーズに応えることができるようになった。また、ホテルの周辺にも、レストラン、カフェ、ショップなどが整備され、観光地としての魅力が増した。ホワイトホテルは、本市の観光産業に大きく貢献することになる。

総領事來樓

本市の総領事が、本市の主要ホテルで、大規模な宴会を開催した。この宴会は、総領事の来訪を祝つたものである。宴会には、本市の主要政治家、実業家、文化界の著名人が参加し、大いに盛り上げた。総領事は、本市の発展と、市民の生活の向上を期すことを誓った。

故佐々木氏葬儀

故佐々木氏の葬儀が、本市の主要寺院で、大規模に執り行われた。葬儀には、本市の主要政治家、実業家、文化界の著名人が参加し、大いに盛り上げた。佐々木氏は、本市の発展と、市民の生活の向上に大きく貢献した。葬儀は、厳粛な雰囲気で行われ、佐々木氏の偉業を称へた。

木又氏生死不明

本市の木又氏が、生死不明の状態にある。木又氏は、本市の主要企業で、重要な職務を担っていた。木又氏の生死不明は、本市の主要企業に大きな影響を与えている。本市当局は、木又氏の生死を調査している。

童話劇は大成

本市の童話劇が、大いに成功した。童話劇は、子供たちに人気のある演劇形式である。本市の童話劇は、子供たちに大いに楽しませ、また、子供たちの情操を陶冶する効果がある。童話劇は、本市の文化芸術界に大きな貢献をした。

野球試合

本市の野球チームが、大いに活躍した。野球試合は、市民に人気のあるスポーツである。本市の野球チームは、市民に大いに楽しませ、また、市民の健康増進に貢献した。野球試合は、本市のスポーツ界に大きな貢献をした。

青年會は解散か

本市の青年會が、解散する可能性がある。青年會は、市民に人気のある組織である。青年會の解散は、市民に大きな影響を与える。青年會の代表者は、青年會の解散を防止するために努力している。

愛憎乱麻

下村悦夫作

愛憎乱麻は、下村悦夫氏の代表作である。この小説は、愛と憎しみ、善と悪の対立を描いた。小説は、市民に大いに人気を博し、大いに成功した。愛憎乱麻は、下村悦夫氏の文学界に大きな貢献をした。

御禮廣告

故佐々木氏の御禮廣告。佐々木氏は、本市の発展と、市民の生活の向上に大きく貢献した。御禮廣告は、佐々木氏の偉業を称へ、市民に感謝の意を表した。

資本金一億圓

三井銀行の資本金一億圓。三井銀行は、日本の主要銀行である。三井銀行の資本金一億圓は、三井銀行の規模と、信用力を示している。三井銀行は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

呼吸器科

患者無料試用。呼吸器科の患者は、無料で呼吸器を試用することができる。呼吸器は、呼吸器疾患の患者に大いに役立つ。呼吸器科は、市民の健康増進に貢献している。

検索廣告

木又豊吉。木又豊吉は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。木又豊吉は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

樓下日本人會

樓下日本人會。樓下日本人會は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。樓下日本人會は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

日本總領事館

日本總領事館。日本總領事館は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。日本總領事館は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

石井銀佐

石井銀佐。石井銀佐は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。石井銀佐は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

山尾醫院

山尾醫院。山尾醫院は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。山尾醫院は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

船橋商店

船橋商店。船橋商店は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。船橋商店は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

新イグル薬店

新イグル薬店。新イグル薬店は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。新イグル薬店は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

葡萄摘採人員募集

本年は葡萄大豊作に付き多数の人員を要す。資金支拂確實にして仕事永続。七月月上旬より開始。諸君の來市を歓迎します。ベーカーズビルド。市内家持一同。農園ボース一同。

森本齒科院

森本齒科院。森本齒科院は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。森本齒科院は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

田中醫醫院

田中醫醫院。田中醫醫院は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。田中醫醫院は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

村上醫院

村上醫院。村上醫院は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。村上醫院は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

市場

市場。市場は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。市場は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

東農産會社

東農産會社。東農産會社は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。東農産會社は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

農産市場

農産市場。農産市場は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。農産市場は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

草野ホテル

草野ホテル。草野ホテルは、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。草野ホテルは、市民の生活の向上に大きく貢献している。

山陽家具店

山陽家具店。山陽家具店は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。山陽家具店は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

岩國屋

岩國屋。岩國屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。岩國屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

九州屋

九州屋。九州屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。九州屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

浪花屋

浪花屋。浪花屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。浪花屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

大島屋

大島屋。大島屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。大島屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

熊本屋

熊本屋。熊本屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。熊本屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

本田旅館

本田旅館。本田旅館は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。本田旅館は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

仙臺館

仙臺館。仙臺館は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。仙臺館は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

東農産會社

東農産會社。東農産會社は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。東農産會社は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

農産市場

農産市場。農産市場は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。農産市場は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

草野ホテル

草野ホテル。草野ホテルは、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。草野ホテルは、市民の生活の向上に大きく貢献している。

山陽家具店

山陽家具店。山陽家具店は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。山陽家具店は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

岩國屋

岩國屋。岩國屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。岩國屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

九州屋

九州屋。九州屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。九州屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

浪花屋

浪花屋。浪花屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。浪花屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

大島屋

大島屋。大島屋は、本市の主要企業で、重要な職務を担っている。大島屋は、市民の生活の向上に大きく貢献している。

ACES SET FOR NORTH-SOUTH NET TOURNAY

Series Starts At Golden Gate On Sunday

All is in readiness for the annual Japanese tennis classic, the North vs. South championship tournament, to be held Sunday on the local Golden Gate courts.

Members of the Southern team, led by Captain S. Yoshikawa, are already in San Francisco, having arrived from Stockton and Sacramento where they made a clean sweep over their Japanese opponents.

Besides Yoshikawa, the personnel of the Southern aggregation includes K. Endo, second man on the team; Jim Yoshida and Ted Sakai, who is regarded as a coming champion.

Out For Revenge.

Despite the handicap caused by the absence of their strongest player, William Shimizu, who will be unable to compete in the series due to illness, the Northern boys are out for revenge. They were defeated last year. The team is composed of Captain Kitsuza, Komiyama, and Shimura.

The winning team this year will claim one victory towards the handsome silver trophy donated by Tomio, wealthy business man of Los Angeles. In addition, there will be many prizes awarded to individual winners in their respective matches.

Starts At Nine. The singles will begin at nine o'clock in the morning with two singles and a doubles while the afternoon will be devoted to one singles and a doubles. Many second generation net enthusiasts are expected to witness the tournament, which is expected to be a lively and exciting affair, with the best nets of the state being used for other than supremacy.

The schedule of plays follows: K. Shibuya (N) vs. Y. Yoshida (S) at 9 a. m. Y. Kitsuza (N) vs. K. Endo (S) at 10 a. m. Komiyama-Shimura (N) vs. Yoshikawa-Endo (S) at 11 a. m. Asakura (N) vs. Yoshikawa (S) at 1 p. m. Kitsuza-Shimura (N) vs. Yoshida-Sasaki (S) at 2 p. m.

JAPAN And Things Japanese. Japan and Things Japanese, a section devoted to the presentation of news and views on ancient facts, regarding the Japanese people and their country is a regular feature of the English Section.

JAPANESE NEWSPAPERS. The most difficult thing about "breaking into journalism" in this country, especially in the larger cities, this writer has been told, is obtaining a position.

How true this is, I do not know. But this much I think I can safely venture to say. No matter how difficult it is to obtain a position in America, it is still more difficult for one to find employment on a metropolitan Japanese newspaper.

Most of the larger papers in Japan obtain their cub reporters through annual examinations. An announcement is made that reporters will be tested on a certain day. When the Asahi conducted its examinations this spring 450 applicants reported. The number is generally in this neighborhood. The number of vacancies is from 6 to 10! So one can see how easy it is to break into journalism in the Land of the Rising Sun.

But this does not mean that Japanese newspapers have small staffs. Far from it. In fact it is this writer's belief that Japan's newspapers maintain the largest staffs in the world. The city editor of any one of the score or more of metropolitan papers in Nippon has from 200 to 300 reporters at his disposal, not to mention the hundreds of desk men.

I have been told that even the New York papers maintain less than 300 men on their editorial forces. This number is reduced to 100 men on the Pacific coast.

The Tokio and Osaka Asahis, the Osaka Mainichi and the Tokio Nichi Nichi have editorial forces numbering over 500 (not including correspondents and men working outside) despite the fact that Japanese newspapers are generally of from 8 to 16 pages in size.

The amount insured by 44 life insurance companies in the country is \$600,000,000 yen; the Government's postal life insurance is \$2,900,000,000 yen while branches of foreign insurance firms issue policies to the amount of 150,000,000 yen, making the total more than 70,000,000,000 yen.

TO MEET PRINCE



MISS MATSUDAIRA

BLIMP DIVES INTO OCEAN

Three Killed In Disaster Off Yokosuka

TOKYO, July 6.—(Special)—The Navy office announced today that the dirigible F5 of the Japanese navy nose-dived into the sea off Oppama, near Yokosuka Naval station Thursday when the pilot became blinded by a dense fog which obliterated the beacon lights.

Three officers aboard were drowned, two of whose bodies are still missing. Four others were saved, though one of them is in a critical condition.

The dirigible was equipped with night maneuvers and was not signaling the shore regularly. Searchlights on boats picked up three survivors, they later discovered the wrecked ship.

Florin People Hold Picnic On River's Banks

FLORIN, July 6.—(Special)—Over one hundred and fifty Japanese residents including 120 young people, enjoyed the annual picnic held by the Shonen and Shoyo societies of the local Buddhist Church Sunday at Tara field on a river bank about fifteen miles south of Florin.

Endeavors Win From Cubs In Newcastle Tilt

NEWCASTLE, July 6.—(Special)—Newcastle celebrated the Glorious Fourth with an exciting baseball game on the local diamond. The Newcastle Endeavors nosed out the Newcastle Cubs, an American team, 12-11.

Showa Club To Hold Special Meeting Today

A special meeting of the Showa Club baseball team will be held Saturday night from 7:30 o'clock at 1520 Webster Street. Arrangements for the Kansai Gakuin game will be discussed.

Salinas Gakuen Will Sponsor Commencement

SALINAS, July 6.—(Special)—A student play "The Little Rabbit in the Moon" will be the feature of an entertaining and instructive literary review to be held in conjunction with the third commencement exercises of the Salinas Japanese Language Institute to be held Friday evening from 7 o'clock in the Nippon Hall of this city.

JAPAN'S LIFE INSURANCE RANKS 3RD IN THE WORLD

TOKYO, July 5.—So far as the amount insured is concerned, Japan's life insurance business ranks third among the countries of the world, being surpassed only by Great Britain and the United States with more than seven billion yen to her credit.

The amount insured by 44 life insurance companies in the country is \$600,000,000 yen; the Government's postal life insurance is \$2,900,000,000 yen while branches of foreign insurance firms issue policies to the amount of 150,000,000 yen, making the total more than 70,000,000,000 yen.

Japan's life insurance business dates back to 1880, in which year the late Mr. Zenjuro Yasuda organized the Kyosai Gohyakumei Shai, the forerunner of the present Kyosai Life Insurance Company. In the following year, the Meiji Life Insurance, the first joint stock insurance firm in Japan had its birth.

OLD SHINTO RITES WILL UNITE PAIR

Setsuko-Hime Is Unspoiled, Tokyo Finds

TOKYO, June 6.—(Special)—H.I.H. Prince Chichibu, heir presumptive to the Throne, and his fiancée, Miss Setsuko Matsudaira will meet for the first time since the return to this country of the Japanese Ambassador to Washington on June 12, at a garden party to be given in honor of the bride-to-be by the Empress Dowager at the Aoyama Detached Palace. Miss Matsudaira will be accompanied to the affair by her mother.

TOKYO, June 30.—The date for the wedding of Prince Chichibu, heir presumptive to the Japanese throne, and Miss Setsuko Matsudaira, daughter of the Japanese Ambassador to Washington, has been set tentatively for September 20. With the arrival in Japan of the Matsudairas, interest in the coming event has been greatly accentuated.

Bride-Elect Adopted. In order to avoid violating the provision forbidding any member of the imperial family from marrying a commoner, Miss Matsudaira has been adopted into the family of her father's brother, Viscount Morio Matsudaira, but to all outward appearances she continues to be the same unspoiled young woman who proved so popular among her schoolmates in Washington and captured the fancy of Americans generally by her modest demeanor and democratic behavior.

On their arrival in Tokyo the Matsudaira family moved into a new house specially built as a home for the bride-to-be during the period preceding her marriage.

To Present Gifts. Ten days before the wedding day Prince Chichibu's steward will call at the home of Viscount Matsudaira and will formally present betrothal gifts, the presents on this occasion to consist of foreign-style clothing suitable for the consort of an Imperial Prince. At this date the date of the wedding will be officially agreed upon long before.

The wedding ceremony, which will be conducted according to the ancient Shinto ritual, will be performed before the imperial sanctuary in the imperial palace. The bride and bridegroom will wear ceremonial robes of a design centuries old.

Among the wedding possessions which the bride will take to her new home will be a sword, carried by the bride according to ancient custom. The weapon was fashioned by one of Japan's most famous swordsmiths and is an heirloom in the Matsudaira family. The bride will also bring with her the set of dolls used in connection with the doll festival celebrated on March 3.

OUR JUNIOR SECTION

Back again! And glad of it! Here we are again with the Junior Club once more after a splendid vacation spent at Yosemite and then at Monterey and Santa Cruz, all in five days.

We didn't mean to take a vacation and didn't tell our members before-hand, but then we suddenly made up our minds and dashed off. And we are certainly glad of it.

When we got back to work in the morning we found our desks stacked up with letters from Junior Club members! That would have disheartened us on an ordinary day because it means a lot of work. But then now that we are back from our vacation and refreshed, it's with the greatest joy that we're going to tackle our work.

We've just space enough today for one letter. So we'll pick one at random. Now we'll see who it's from. It says, Sadako, Miyata, Star Rt. Box 28, Brawley, fine, now let's open it. And here's Sadako's letter:

"I am very sorry I couldn't write to you sooner. Will you please tell me through the Junior Section what is meant by a stamp?"

A stamp, Sadako, is nothing more than a postage stamp. A large number of people collect them. Not the ordinary two and three cents stamps you see on all letters, but those which come on letters from foreign lands. And then there are old postage stamps that are not being used today which are very valuable.

Sadako sends in these jokes. First: I got zero in history today. Second: That's nothing. First: What's nothing? Second: Zero.

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Matsudaira Is Next Envoy To London Embassy

TOKYO, July 6.—(Special)—Tsuneo Matsudaira, Ambassador to Washington who returned here late last month accompanied by his daughter, Miss Setsuko, fiancée of H. I. H. Prince Chichibu, was today appointed Japanese ambassador to the Court of St. James.

Matsudaira will succeed Baron Keishiro Matsui, former Minister of Foreign Affairs who returned recently from London. K. Debuchi, vice-minister of Foreign Affairs was appointed Ambassador to Washington.

JAPAN MAY GET WOMEN SUFFRAGE

TOKYO, June 19.—(By Mail)—As a political move to gain popularity the Seiyukai (Government) Party has a plan to introduce a bill in the regular session of the Diet this winter for the revision of the election law for the enfranchisement of women, lowering of the age limit for the enfranchisement of men, and changes in the electoral districts, and in the regulations for punishments to be meted out for violations of the election law. The executive officers of the party held a meeting on June 17 to discuss the matter, at which time Endo, Osaki, Kudo, Hashimoto, Yoshiki, Suzuki and Nishioka.

It was pointed out at the meeting that, while the Seiyukai could afford to be indifferent when criticism is made that it is a conservative party, it should by no means fail to carry out plans which will touch the heart strings of the people to win general approbation, and which the Opposition and even the Proletariat cannot but support.

Opposed By Minseitō. The Minseitō (major Opposition) regards enfranchisement of women premature in Japan, although the party sees the need of revision of the election law with a view to lowering the age-limit of men to 20 years. A special committee of the party has been considering the revision of the law with the following three items in mind:

- 1. Proportional representation. 2. Lowering the age-limit of men. 3. Enfranchisement of women.

Referring to the proportional representation, the committee has held the view that while it is necessary to adopt a measure of proportional representation, the question is in what way should it be adopted. The investigations of the party have not yet been completed, although Yamamasa, member of the house of Representatives of the party, was especially sent to Europe and America to study the system.

Former S. F. Boy Given Position On Radio Staff

Satoshi Uchida, who recently sent the broadcasting programs of the JOAK to the Japanese American News, and who is now with the research department of the JOAK station located in Tokyo, received his entire training in this country it was learned today from his friends here.

Uchida was born in Japan but spent most of his boyhood in this country between San Francisco and Los Angeles. After his graduation from the University of California, he continued his studies at Massachusetts Institute of Technology, more familiarly known as the "Boston Tech."

After an American training, he did not find it too difficult to secure a responsible position in the foremost broadcasting station in Japan.

Graduates At Florin Are Paid High Tribute

FLORIN, July 6.—(Special)—The Shonen and Shoyo Kal, local young people's societies of the local Buddhist church, sponsored an enjoyable graduation party Wednesday afternoon in honor of those who graduated from the high, grammar and Japanese language schools. Over fifty people enjoyed the program.

The opening address was made by Miss Gladys Kadotani, while a congratulatory speech was delivered by Miss Alice Fujiwara. Miss Mary Tamihara representing Japanese school graduates, and Miss Edith Tsukamoto, in behalf of high school graduates, responded.

The gakuen graduates are Mary Tamihara, Herbert Kurima, Jim Yasukawa, George Miyao, Samuel Okamoto and Joe Kurima.

THE WEATHER

Official weather forecast: Saturday: Fair and moderately warm. Moderately northerly winds.

CAT TALES

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

S.F. WELCOMES 200 JAPANESE SUNDAY SCHOOL DELEGATES; BANQUET, FETE TO HONOR VISITORS ON BRIEF STAY

Banquet To Be Held At St. Francis For Sunday School Delegates; Visitors To Attend Local Churches Sun. Morning

The 200 Japanese delegates to the World Sunday School convention who arrived in San Francisco Friday will be tendered a formal banquet at the St. Francis Hotel Saturday noon by the Japanese Association of San Francisco. Leading Japanese residents here will attend the affair.

During the morning hours the visitors from Nippon will be taken on a sightseeing tour of the city by the San Francisco Chamber of Commerce.

Sunday morning they will attend the various Japanese and American churches of this city for devotional services, while the Women's Societies of the respective churches will serve luncheon in their honor.

The city's welcome program will be brought to a climax Sunday afternoon when a huge international good-will reception will be given in the delegates' honor at the First Congregational Church at Post and Mason to which the public will be invited. An elaborate program with speeches, musical contributions on Oriental instruments by members of the delegation, and several other entertaining numbers will be the feature events of the gathering.

SESSUE IS S.F. GUEST

Noted Actor To Appear in Orpheum Circuit

Sessue Hayakawa, noted Japanese actor and former movie star, who arrived in this city Thursday morning, left for Los Angeles at 5 p. m. of the same day in order to begin his California engagement with the Orpheum circuit.

Hayakawa was accompanied by his wife, Tsuruko Aoki, who will appear with him in his new dramatic vehicle "The Man Who Laughs." They play at the Orpheum in Los Angeles during the week beginning July 8. They will appear in San Francisco during July 21 to 27, followed by an appearance in Oakland July 28 to August 3. Then they will return to this city and play at the Golden Gate theatre August 4 to 11, after which they go to Los Angeles for a return engagement there.

MERRITTS TO FACE ASAHI'S

Title Game Will Be Played In Oakland Sunday

Oakland Merritts, one of the strongest teams in this district and winner of seven successive victories, issued a challenge to the San Jose Asahi nine, champion of the Fourth of July baseball tournament held in that city July 2-4. Report was received late Thursday that San Jose accepted the challenge and will defend the unofficial title of the Oakland ground Sunday, July 8.

The game's arousing keen interests among the diamond followers of Northern California, for it will virtually decide the championship of this district.

The Merritt team held a general meeting Thursday evening, 8 o'clock.

THE ROMANCE OF JAPAN

Through the Ages

By JAMES A. B. SCHERER

An Interpretive Outline of the Story of Japan from the Introduction of Buddhism in 552 A. D. to the Passage of the Manhood Suffrage Act in 1925.

(Continued from yesterday)

Prepared by an elaborate subjective ritual, the guests of old would silently approach the sanctuary or tea-room proper, by way of a garden path designed to denote the path to self-illumination. If Samurai, they left their swords behind them on a rack beneath the eaves, a tea-room being preeminently the place of peace. Then they bowed low and crept into the room through a small door not more than three feet in height. This was incumbent upon all guests, proud or humble, being indeed designed to teach humility. His guest would not enter until all his guests were seated, when quiet reigned, with nothing to break the silence save the song of the boiling water in the iron tea-kettle. "The kettle sings well," the Book of Tea says, "for pieces of iron are so arranged in the bottom as to produce a peculiar melody in which one may hear the echoes of a cataract muffled by clouds, of a distant sea breaking among the rocks, a rainstorm sweeping through a bamboo forest, or the sighing of pines on some far-away hill."

"The tea is made and drunk in a preternaturally slow and formal manner, each action, each gesture, being fixed by an elaborate code of rules. Every article connected with the ceremony, such as the tea-caster, the incense burner, the hanging scroll, and the bouquet of flowers hanging in the alcove is either handled, or else admired at a distance, in ways and with phrases which unalterable usage prescribes.

Even the hands are washed, the room is swept, a little bell is rung and the guests walk back into the house at stated times and in a manner which never varies, except in so far as certain schools obey slightly varying rules of their own, handed down from their ancestors."

Foreign students of things Japanese differ widely in their estimates of these ceremonies. One calls them "perhaps the most stilted and preposterous bit of social ritual that humanity ever devised. Another, more sympathetic, says: "The whole of this art, as to detail, signifies no more than the making and serving of a cup of tea. However, it is a real art—a most exquisite art. The actual making of the infusion is a matter of no consequence in itself; the supremely important matter is that the act be performed in the most perfect, most polite, most graceful manner possible. Everything done—from the kindling of the charcoal fire to the presentation of the tea—must be done according to rules of supreme etiquette; rules requiring a natural grace as well as great patience to fully master. Therefore a training in the tea ceremonies is still held to be a training in politeness, in self-control, in delicacy—a discipline in deportment."

Captain Brinkley, after pointing out that the artistic keynote of the Ashikaga tea-cult was a combination of esthetic eclecticism of the most fastidious nature with the severe canons of simplicity and austerity through Special Arrangements With Publishers.

Huge Delegation Arrives Here From Nippon

Two hundred Japanese delegates to the World Sunday School convention, the largest party of Nipponese to ever set foot on American soil as a delegation, arrived in San Francisco early Friday afternoon aboard the N. Y. K. liner Tenyo Maru enroute to Los Angeles to attend the great Sunday School convention July 11 to 18.

The Japanese delegation was greeted by prominent American and Japanese church representatives and officials of the city.

Rev. Shokichi Hata, head of the Church Federation, Vice-Consul T. Kaneke, the Rev. Y. Tsuda and the Rev. S. Kowta of the local M. E. church and Reformed church, respectively, were among the more prominent men from the Japanese community who were at the pier to greet the delegates.

The boat bearing the delegates was scheduled to dock at 10:30 o'clock but due to unfavorable tides, was delayed several hours. This necessitated the postponement of the official reception scheduled in the morning for the Nippon delegates by Mayor Ralph in behalf of the city of San Francisco. The reception will take place Saturday morning at 11:15 o'clock.

Immediately after their arrival the delegates were taken for a sightseeing tour of the East Bay district as guests of the Japanese Association of Oakland, Berkeley and Alameda.

After a trip to the University of California campus, the Japanese flower gardens and nurseries, the party returned to San Francisco for the welcome dinner sponsored by the Japanese Church Federation of Northern California at the Sho Wa Lo at six o'clock.

Pastors and leading Japanese residents of the Bay region acted as hosts at this brilliant function in which greetings were exchanged by leading guests and members of the local community.

Later in the evening a Japanese welcome meeting was held at the local Reformed church on Post St. The program follows: Chairman—Y. Tsuda. Scripture Reading—H. Arima. Prayer—J. Tsushima.

Welcome addresses by Miss Sumiko Morishika, head of the Japanese Young People's Federation of Northern California; Y. Toka and S. Hata, head of the Japanese Church Federation.

Responses by Dr. S. Sei. Kishiko Abe and J. Tsushima. Introduction of Sunday School delegates. Vocal solos.

Lessons In English Given Over the Radio

TOKYO, July 6.—Prof. Harold E. Palmer, adviser on linguistics to the Ministry of Education, is daily broadcasting a short lecture on the pronunciation of English by the Japanese, while a Japanese newspaper is publishing the same lecture in order that it may be more closely followed. English is easily the second language of Japan, being a compulsory study in all schools from the sixth grade upward.

Professor Palmer points out that many Japanese who have a good knowledge of written English are unable to speak it so that they are understood, and others are unable to understand it when properly spoken. The Ministry of Education engaged Professor Palmer as an adviser a number of years ago in an attempt to overcome this defect.

It is generally conceded that he has made great progress. In addition, he is endeavoring to reform the system of teaching the English language followed in the public schools of Japan.

He says that in all her arts Japan was thenceforth guided by the ideals of the tea clubs. This is really why the cha-no-yu is so important.

(To Be Continued)

By Pusey

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate

Bill: Who is the laziest person in the world? Jake: I give up. Bill: The cook, because he puts pork corn in the pan so that the pancake will turn over itself.

We enjoyed your jokes, Sadako. Do write us again.

That's all for today, members. We'll have many, many more letters from members during the next few days. And we also hope you'll all write in and tell us what you are doing.

Copyright by United Picture Syndicate